

# 日本プラスチック工業連盟の概要

2026年1月5日  
日本プラスチック工業連盟

# 日本プラスチック工業連盟(プラ工連)とは

- 原材料、加工、関連団体会員および各種企業会員から構成された  
我が国のプラスチック産業における代表組織の一つ
- プラスチックのリサイクルや環境問題などのプラスチック全般に関する  
社会対応業務や、統計値を含む情報提供といった業界関連対応業務、  
プラスチック関連のISO規格やJISの制定・改正に関する業務など、  
広範囲な活動を展開
- 国や関係団体の検討委員会等に積極的に参画
- 46の団体会員、74の企業会員(合計:120会員)で構成  
(2026年1月5日現在)

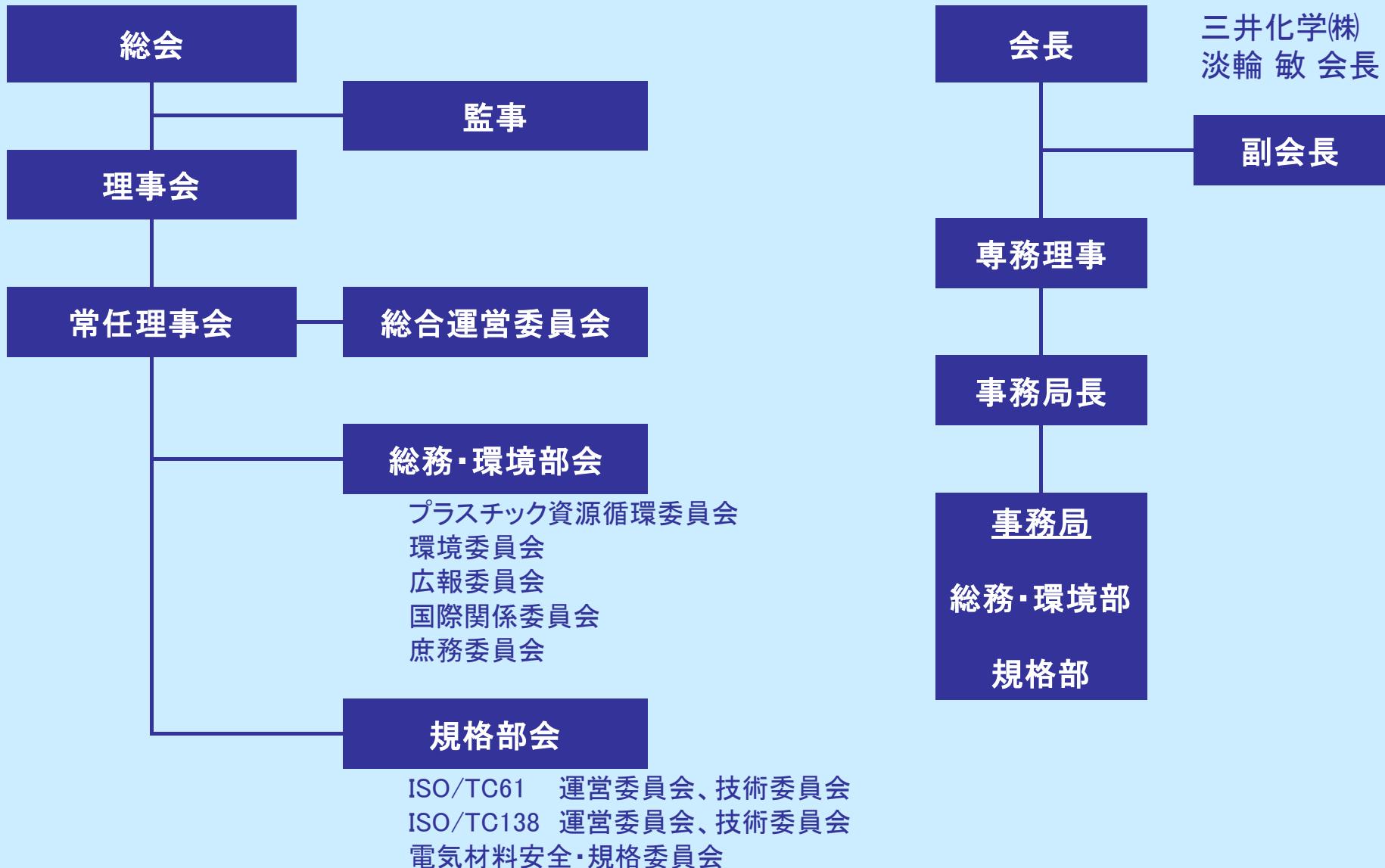
# プラ工連の沿革

- 1950年7月、新しい産業として期待されていたプラスチック産業の健全な発展を目指し、関係諸官庁および業界の総意によって『プラスチック協会』が発足
- 1953年から1954年にかけてプラスチック業界が拡大するに従い、協会組織の一部が単一団体として独立するとともに、『プラスチック協会(当時)』の会員となる
  - 塩化ビニル樹脂部会 ⇒ 塩ビ工業・環境協会
  - 熱硬化性樹脂部会 ⇒ 合成樹脂工業協会
  - ビニル加工部会 ⇒ 日本ビニル工業会
  - 可塑剤部会 ⇒ 可塑剤工業会
- 1950年代半ばに石油化学工業の生産が本格化すると、目的別に各種業界団体が設立され、それら団体を会員に迎え、1959年に『日本プラスチック協会』に改称
- 業界の総合的問題、共通課題に対処すべく、1962年に名称を『日本プラスチック工業連盟』に改め、現在に至る

# プラ工連のビジョン

- プラスチック工業に関わる団体および企業を会員とし、それら会員の利益のために、プラスチック業界、なかでもプラスチック加工業界に求められている重要課題の解決のために活動する。
- プラスチック樹脂製造業、プラスチック加工業および関連団体等の組織間の協力関係の絆を強化し、プラスチック工業の健全な発展に寄与する。
- プラスチックに関する正確な情報を社会に発信するとともに、社会の要請を的確に捉えてプラスチック業界に反映することにより、社会に貢献する。
- 海外、特にアジアの業界との協調により、プラスチック工業の発展と社会貢献に寄与する。

# プラ工連の組織



# 会員リスト① 団体会員 46団体

2026年1月5日現在

## 原料樹脂関係団体(9団体)

ウレタン原料工業会  
塩ビ工業・環境協会  
エンプラ技術連合会

合成樹脂工業協会  
石油化学工業協会  
日本ABS樹脂工業会

日本スチレン工業会  
発泡スチロール協会  
ポリカーボネート樹脂技術研究会

## 加工関係団体(21団体)

ウレタンフォーム工業会  
塩化ビニル管・継手協会  
架橋ポリエチレン管工業会  
強化プラスチック複合管協会  
建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会  
高耐圧ポリエチレン管協会  
高発泡ポリエチレン工業会

一般社団法人 JSACA  
一般社団法人 日本バイオプラスチック協会  
日本ビニル工業会  
一般社団法人 日本弗素樹脂工業会  
一般社団法人 日本プラスチック食品容器工業会  
日本プラスチック板協会  
日本ポリエチレン製品工業連合会

日本ポリエチレンパイプシステム協会  
日本ポリオレフィンフィルム工業組合  
日本ポリプロピレンフィルム工業会  
配水用ポリエチレンパイプシステム協会  
発泡スチレンシート工業会  
PETトレイ協議会  
ポリブテンパイプ工業会

## 関連団体(16団体)

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構  
一般社団法人 エポキシ樹脂技術協会  
塩化ビニリデン技術協議会  
一般財団法人 化学研究評価機構  
可塑剤工業会  
硝子繊維協会

一般社団法人 抗菌製品技術協議会  
炭素繊維協会  
一般社団法人 日本RPF工業会  
一般社団法人 日本ガス協会  
一般社団法人 日本管路更生工法品質確保協会  
日本接着剤工業会

廃PETボトル再商品化協議会  
一般社団法人 バリア研究会  
一般社団法人 プラスチック循環利用協会  
PETボトル協議会

# 会員リスト② 企業会員① 合計74社

2026年1月5日現在

## 原料樹脂関係会社(20社)

旭化成株式会社  
出光興産株式会社  
株式会社カネカ  
株式会社クラレ  
株式会社JSP  
信越化学工業株式会社  
住友化学株式会社

積水化成品工業株式会社  
DIC株式会社  
デンカ株式会社  
東ソー株式会社  
東レ株式会社  
東洋スチレン株式会社  
日本ポリケム株式会社

PSジャパン株式会社  
株式会社プライムポリマー  
ポリプラスチックス株式会社  
三井化学株式会社  
三菱ケミカル株式会社  
UBE株式会社

## 加工関係会社(31社)

アキレス株式会社  
石坂産業株式会社  
いその株式会社  
株式会社エフピコ  
卡帝徳株式会社  
岐阜プラスチック工業株式会社  
株式会社クボタケミックス  
桑名金属工業株式会社  
サンディック株式会社  
株式会社JEPLAN  
JFEエンジニアリング株式会社

シーピー化成株式会社  
シュツツ・コンテナ・システムズ株式会社  
住友ベークライト株式会社  
積水化学工業株式会社  
大成プラス株式会社  
大同化成株式会社  
中央化学株式会社  
東京エコリサイクル株式会社  
東洋製罐株式会社  
東洋紡株式会社  
株式会社富山環境整備

日興化成株式会社  
日本鑄鉄管株式会社  
フクビ化学工業株式会社  
富士フィルム株式会社  
フタムラ化学株式会社  
前田工織産資株式会社  
株式会社ユポ・コーポレーション  
株式会社吉野工業所  
リスパック株式会社

# 会員リスト③ 企業会員② 合計74社

2026年1月5日現在

## 機械関係会社(8社)

GTRテック株式会社  
株式会社島津製作所  
スガ試験機株式会社

株式会社東京システムパック  
株式会社東洋精機製作所  
日精エー・エス・ビー機械株式会社

株式会社パルメソ  
株式会社安田精機製作所

## 試験関係会社(5社)

株式会社KRI  
株式会社神戸工業試験場

株式会社DJK  
株式会社三井化学分析センター

株式会社ロンビック

## 商社関係会社(8社)

NCTマテリアル株式会社  
KISCO株式会社  
住友商事ケミカル株式会社

双日プラネット株式会社  
豊田通商株式会社  
長瀬産業株式会社

株式会社パナ・ケミカル  
三菱商事プラスチック株式会社

## 関連会社(2社)

日揮ホールディングス株式会社

株式会社三菱総合研究所

# 【総務・環境部】プラスチック資源循環委員会

■世界的な資源循環の必要性の高まりを受け、2018年にプラ工連独自の資源循環戦略を策定

■2022年4月に施行された『プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律』(通称:促進法)に則り、プラスチックの循環経済を構築するとともに、カーボンニュートラルの社会実現を目指す

- ・プラスチックのマテリアルリサイクル、ケミカルリサイクルの推進
- ・バイオプラスチック(バイオマスプラスチック、生分解性プラスチック)の利用推進
- ・リサイクルしやすいプラスチック製品の回収推進
- ・環境価値に関する広報・啓発

■プラスチック資源循環委員会の下に、施策連絡協議会と3つの作業部会(WG)を設置して活動

- ・資源循環施策連絡協議会
- ・PET-WG
- ・PS-WG
- ・バイオプラスチック利用推進WG

# 【総務・環境部】環境委員会

## ■プラスチックの安全性に関する活動

- ・官庁(経済産業省、環境省など)、関連業界団体(日本化学工業協会など)との連携
- ・NPO、消費者団体との協議・連携

## ■海洋プラスチック問題解決に向けた活動

- ・INC(プラスチック汚染に関する政府間交渉委員会)の情報共有
- ・樹脂ペレット漏出防止活動
- ・海洋プラスチック問題解決に向けた宣言活動

## ■その他

- ・三省(経済産業省、環境省、厚生労働省)配信情報の会員への提供
- ・各種関連セミナーを開催
- ・その他の情報共有

# 【総務・環境部】広報委員会

## ■プラスチックに対するイメージ調査

- ・4年に一度(夏季オリンピック開催年)、専門調査会社を起用し調査を実施

<https://www.jpif.gr.jp/visitor/consumer/survey/>

- ・明治大学商学部の高橋教授によるイメージ調査結果の統計学的解析と広報活動への展開

## ■消費者団体との懇談会

- ・毎年3月頃、消費者団体との懇談会を開催し、意見交換実施

<https://www.jpif.gr.jp/visitor/consumer/consumer-groups/>

## ■その他

- ・中学校理科教科書の改訂状況フォローと情報提供
- ・都中理(東京都中学校理科教育研究会)との連携
- ・ホームページの改定とコンテンツの充実化

# 【総務・環境部】国際関係委員会

## ■極東プラスチック業界懇談会

- ・2年に一度、日本/韓国/台灣の持ち回りで開催しており、次回は2025年11月に韓国にて開催予定
- ・各国のプラスチック生産状況、その時々のトピックスに関する意見交換

## ■中国塑料加工工業会(CPPIA)との情報交換会

- ・毎年1回、交互訪問により情報交換会を実施

## ■その他

- ・米国ワシントンコア社との情報交換  
※年3回程度、入手情報は会員限定で共有化
- ・海外情報提供  
※広報委員長のご協力により、特に欧州のプラスチック規制動向について情報共有化

# 【総務・環境部】その他業務

## ■プラスチック関連の統計情報整理

- ・経済産業省の生産動態統計、財務省の貿易統計を元に、プラスチック関連の統計値を抜き出して整理  
※年次データ、直近年の月次データはHPにて適宜公開

<https://www.jpif.gr.jp/statistics/>

- ・アメリカ、中国の貿易統計を半年に一回整理  
※プラ工連ニュースにて紹介

## ■プラスチック加工業界懇談会(会員限定)

- ・毎月1回、経産省からの出席を仰ぎ、プラスチック加工関係の団体会員へ情報提供し、意見交換

## ■プラ工連ニュースの発刊(会員限定)

- ・毎月1回、その時々のトピックスを紹介

# 【規格部会】業務概要

## ■ ISO関連業務

- ・国際標準化機構(ISO, International Organization for Standardization)のTC61(プラスチック)、TC138(流体輸送用プラスチック管、継手及びバルブ類)への参画
- ・日本発のISO規格の提案と規格化
- ・国際幹事国業務  
※TC61/SC11、SC12、SC13、TC138及びTC138/SC8は、日本が幹事国を務める

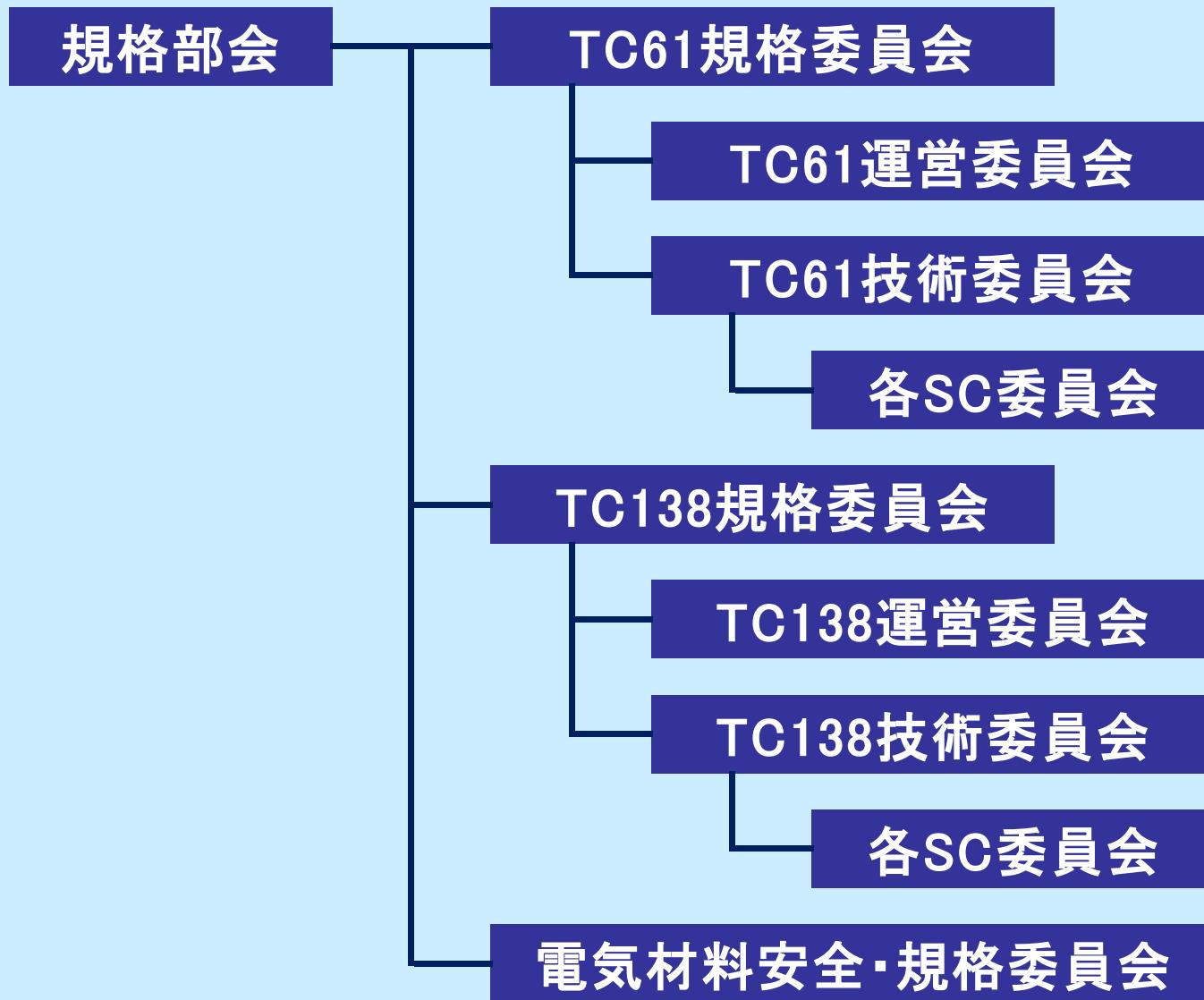
## ■ JIS関連業務

- ・ISO規格と整合性を取った、日本産業規格(JIS, Japanese Industrial Standards)の制定・改正
- ・日本規格協会(JSA)公募制度に基づいたJIS原案作成
- ・日本産業標準調査会(JISC)活動への参画

## ■ IEC関連業務への参画

- ・国際電気標準会議(IEC, International Electrotechnical Commission)に関し、IEC国内委員会にてIEC規格およびJISの制定・改正に参画
- ・電子情報技術産業協会(JEITA)、電気用品部品・材料認証協議会(CMJ)と連携

# 【規格部】規格部会の構成



# 【ISO組織概要】

2025年1月現在

総会 General Assembly

会員合計: 173カ国  
会員団体: 129カ国  
通信会員: 40カ国  
購読会員: 4カ国

理事会 Council

理事国 : 20カ国

- ・過去に日本が会長国となったことあり
- ・現在はJSAが理事

中央事務局 Central Secretariat

15カ国

技術管理評議会  
Technical Management Board

全TC数: 270

専門委員会: TC  
Technical Committee

全SC数: 509

分科委員会: SC  
Subcommittee

全WG数: 2,500超

作業グループ: WG  
Working Group

# 【規格部会】TC61(プラスチック)

※SC11、SC12、SC13は日本が幹事国

TC/SC	名称	幹事国	WG数
TC61	プラスチック	中国	1
SC1	用語	イギリス	1
SC2	機械的性質	韓国	7
SC4	燃焼拳動	イギリス	4
SC5	物理・化学的性質	ドイツ	4
SC6	老化、耐薬品性、耐環境性	ドイツ	4
SC9	熱可塑性樹脂材料	韓国	8
SC10	発泡材料	カナダ	4
SC11	製品	日本	9
SC12	熱硬化性樹脂材料	日本	2
SC13	複合材料及び強化用繊維	日本	4
SC14	環境側面	ドイツ	5

# 【規格部会】TC138(流体輸送用プラスチック管、継手及びバルブ類)

※TC138及びSC8は日本が幹事国

TC/SC	名称	幹事国	WG数
TC138	流体輸送用プラスチック管、継手及びバルブ類	日本	1
SC1	下水、排水、雨水用プラスチック管・継手 (農業用を含む)	フランス	2
SC2	給水用プラスチック管・継手	スイス	3
SC3	工業用プラスチック管・継手	イタリア	3
SC4	ガス燃料供給用プラスチック管・継手	オランダ	5
SC5	プラスチック管・継手及びバルブと付属品の 一般特性—試験方法と基本仕様	オランダ	5
SC6	強化プラスチック管・継手	オーストラリア	4
SC7	プラスチックバルブと付属品	イタリア	0
SC8	配管系の更生	日本	4

以 上